

(1) 事業の目的

道路構造物（橋梁・トンネル）の長寿命化計画に基づく補修事業及び各種点検・計画策定を行い、適確な維持管理を推進することを目的とする。

なお、橋梁については、補修と合わせて行う耐震補強を含む。

(2) 指標①〈県：橋梁〉老朽化の対策が緊急的に必要な施設の対策実施割合の向上

指標②〈県〉静岡県地震・津波対策APに基づく重要路線等にある橋梁の耐震化率の向上

指標③〈県〉トンネル設備の緊急対策完了率

指標④〈市町〉老朽化の対策が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上

指標の達成状況

指標①：老朽化対策が緊急的に必要な11橋に対策を実施し、目標を達成した。

指標②：計画期間間中130橋の耐震化の実施を予定していたが、実績は122橋と目標を達成できなかった。未達成の主な理由は、公安委員会との協議等に日時を要したためである。

指標③：緊急対策が必要な13トンネルの設備対策を実施し、目標を達成した。

指標④：老朽化対策が必要な213事業へ対策を実施し、目標をほぼ達成した。

計画の成果目標	定量的指標			
	H26当初(H25末見込み)	H30末最終目標	H30末最終実績	H30末達成率
老朽化の対策が緊急的に必要な施設に対し、対策を実施した割合	90 % ( 96橋 / 107橋 )	100 % ( 107橋 / 107橋 )	100% ( 107橋 / 107橋 )	100.0%
「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づく重要路線等にある橋梁の耐震化率	52 % ( 300橋 / 576橋 )	75 % ( 430橋 / 576橋 )	73% ( 422橋 / 576橋 )	91.3%
トンネル設備の緊急対策完了率	58 % ( 18トンネル / 31トンネル )	100 % ( 31トンネル / 31トンネル )	100 % ( 31トンネル / 31トンネル )	100 %
老朽化の対策が必要な施設に対し、対策を実施した割合	0 % ( 0要素 / 217要素 )	100 % ( 217要素 / 217要素 )	99% ( 213要素 / 217要素 )	99%

(3) 指標に関連する実施事例

① 〈県〉橋梁補修 A01-330 (一) 富士富士宮線 南神田橋 (橋梁修繕)



② 〈県〉橋梁耐震補強 A01-088 (主) 下田石廊松崎線 弓ヶ浜大橋 (橋梁耐震対策)



### (3) 指標に関連する実施事例

#### ③ 〈県〉トンネル設備補修 A01-358 (国) 414号 新天城トンネル (トンネル設備修繕)

着手前



対策後



押しボタン式通報装置



警報表示板



制御装置

#### ④ 〈市町〉 A01-247 (市) 片浜静波線 (港橋) (橋梁修繕)



高欄等の劣化



高欄を含め主要部材を修繕

### (4) 定量指標以外の効果発現状況

鋼製の道路橋や横断歩道橋の塗装塗替え実施の際には、「ふじのくに色彩・デザイン指針 (社会資本整備)」に則りダークブラウンなどの景観配慮色に塗り替えることにより、老朽化対策と合わせて公共空間のよりよい景観形成に寄与している。



着手前

塗装損傷状況

(国) 469号  
村山1号橋(富士宮市)



着手前

塗装損傷状況

(一) 富士由比線  
旭町歩道橋(富士市)



対策後

塗替塗装にあわせ  
景観配慮色に変更



対策後

塗替塗装にあわせ  
景観配慮色に変更

### (5) 今後の方針と目標達成見込み

- ① ③ 後継整備計画に位置付けた法定点検施設 (橋梁, トンネル, 大型構造物) の点検・修繕を、それぞれの中長期管理計画 (個別施設計画) に基づき、着実に実施していく。
- ② 引き続き「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の予算などを活用して橋梁の耐震対策を実施しており、令和元年度末には78%に達する見込みである。
- ④ 老朽化対策を実施する全市町に対し、個別施設計画の策定が求められていることから、施設毎の個別施設計画を策定し、次年度以降も計画的かつ着実に修繕等を実施していく。